

2020年度 第4回運営委員会議事録

- 日 時 : 2020年10月23日(木) 13:30~15:30
- 場 所 : サプリ村野 環境保全研修室
- 出席者 : 伊丹、市山、大倉(枚方市)、阪口、豊高、丸井、宮村、事務局
- 欠席者 : 阪本、末岡、
- 議 長 : 宮村
- 議事録作成 : 事務局
- 配布資料:

- ・地球温暖化対策推進チームミーティング議事録
- ・環境教育部会10月定例会議事録
- ・公共交通部会 報告
- ・自然エネルギー部会 10月6日議事録
- ・中間報告書(案)
- ・予算執行状況

1. 報告事項

①事務局報告

- ・会員動向は下表参照
- ・スタッフ会員現在9名
- ・事務局岩本さん 10月末で退職
- ・環境ティールーム 「都市に田んぼがあることのメリット」は、大変盛況であった。
- ・9月環境ミニ講座「炭でこけ玉作り」楽しんでいただいた。里山の話もできた。
- ・あしたのまち・くらしづくり活動賞 受賞決定

(枚方市より)

- ・11月の広報の冒頭特集4ページで 高校生の環境についての記事がでて、その中でプラごみダイエットについてもインタビューに來させてもらって、掲載されている。
- ・S-EMSの継続について、教育委員会との話し合いを持った。予算化してもらえるよう要望した。

②プロジェクトチーム・部会報告

◆地球温暖化防止対策推進チーム報告

- ・「プラごみダイエット生活アイデア募集」67名応募。1次選考を行った。
- ・エコノートの取り組みを検証するためのアンケート実施中。

◆環境教育部会

- ・9月くらわんか塾開催、新規4名 計14名参加。
- ・新規参加者は、他講座にも参加。会員になってもらえるよう継続して働きかけを行っている。
- ・10月より、さだ西小学校エコクラブでの環境出前授業をコロナ対策をして再開。
- ・他の学校へも訪問し、状況を確認。結果、樟葉北小での実施が確定した。

◆公共交通部会

報告事項、別紙参照

- ・議会で、土木総務として、コロナ禍における公共交通利用に関して何ら対応はしていないのかとの質問があったが、公共交通利用PRポスター・チラシについて報告したところ、高い評価を得た。
- ・写真募集を行っているが、順調に応募がある。
- ・ニッペパークにバス停型PR看板を設置している。

◆自然エネルギー部会

- ・12月12日（土）自然エネルギー学校 開催決定。（議事録参照）

定員 60名。講演の後、ワークショップ

千葉大学教授 倉阪秀史 先生を講師に「再生可能エネルギー100%社会は可能か」というテーマで、再生可能エネルギー100%の自治体について知ってもらおうと共に、日本のエネルギー政策について考える場としたい。

（主な意見）

Q：実際、再生可能エネルギー100%の自治体があるのか

A：現在約100の自治体がある。都市では難しいが、郡部では可能。生活だけなら可能。

◆まちづくり部会

部会長が家庭事情により、活動ができなくなった。他のスタッフも様々な事情を抱え厳しい状況であるが、なんとかかできるところだけでもやっていこうという話になっている。

2. 協議事項

◆エコフォーラムについて

出展団体に開催形態と出展の意思についてアンケートをとった。結果は、それぞれであったため、個々の意向に沿った形としていきたい。

（主な意見）

Q：コロナ対策はどうするのか → もちろん行う。

Q：開催日は？ → 2021年2月13日（土）予定

◆理事会資料について

中間事業報告書及び予算執行状況について確認した。 →特に修正なし

◆会員交流会について

- ・ネットワーク café はどうか。情報コーナーで日時を決めて会員対象のオープン café を開いてはどうかと考えている。→とりあえずやってみてはどうかということで合意。

- ・行政との懇談会について

新年会などとは別に、テーマを決めて担当部署の方と年一回程度話をする場・機会をつ

くってはどうか。

(主な意見)

Q：行政側はどういう人にでてほしいのか。

A：市長、副市長ではなく、担当部署の方にきてほしい。

Q：どの範囲で何人くらいに声をかけるか

A：とりあえずは、運営委員会メンバーではじめる。年明けくらいに設定できればいい。

・結論：運営委員会メンバーと、担当部署との意見交流会を年明け開催に向け進める事とした。

****次回運営委員会** 11月20日(金) 13:30~15:30 サプリ村野 環境保全研修室**